

広島大学生物生産学部と共同研究協定を締結しているマレーシアの国立大学 Universiti Sultan Zainal Abidin (UniSZA)に対して大塚（UniSZA の客員教授）がオンラインで学生，教員，研究者向けに講演および講義を行った。いずれも活発な質疑応答が行われた。なお，本企画は本学の卒業生であり，UniSZA の Dr. Norshida Ismail によって立案された。

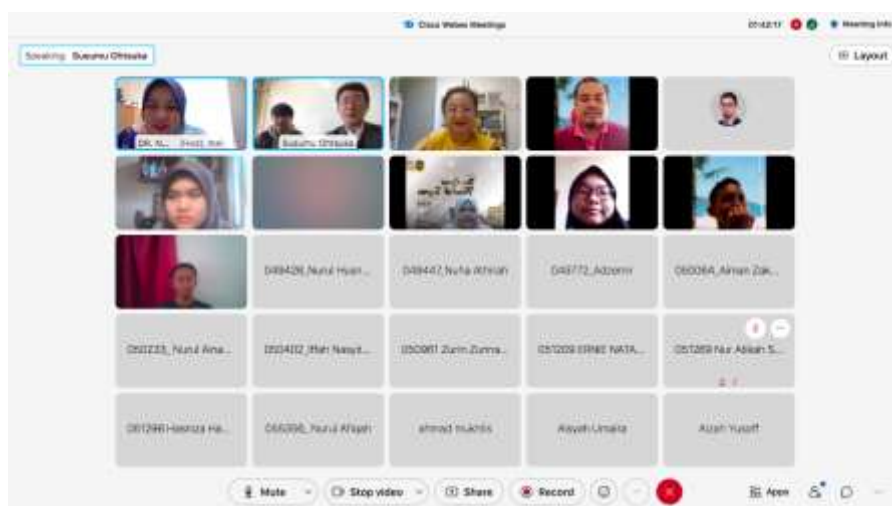
- 2021年11月16日 シンポジウム講演（参加者224名）

“Global spread of aquatic parasites via aquaculture, aquarium and game fishing”

- 2021年12月14日 講義（参加者78名）

“Introduction to commercially harvested invertebrates, with special reference to oyster culture in Hiroshima, Japan and Jellyfish fisheries in Asia”

世界的に蔓延したコロナ禍の中，このようなオンラインでの国際的学術交流も有効であることが実証された。



シンポジウム講演の様子-1



シンポジウム講演の様子-2